

こういうときはこうする

今年度初めての避難訓練は、地震の想定でした。「机の下にもぐり、頭をかかすこと」「先生の指示に従い廊下に整列すること」「避難経路でおしゃべりをせず避難すること」が、しっかりできたでしょうか。今回は、避難訓練を実施することをあらかじめ伝えていました。地震発生時、身を守る基本的な行動や避難経路、避難場所等を確認することが目的だったからです。しかし、地震などの災害は、思いもよらないような場面で発生します。準備も何もしていなければ、パニックになり、自分の命を守ることができないかもしれません。準備の1つは、今年度から自宅保管の「非常用持出袋」を調べておくことです。他にも、家族との待ち合わせ場所を決めるなどした「緊急対応ハンドマニュアル」の作成も準備の1つです。頭の中での準備も大切です。「こういうときはこうする」というシミュレーションをしておくことも準備なのです。地震や火災などの災害場面での避難行動などをあらかじめ考えておくということです。では、実際にやってみましょう。

- ・帰りの会終了後、下校のため下駄箱に上履きを入れた、ちょうどその時、地震の揺れを感じました。あなたは、どのような行動をとりますか。
- ・同じく地震です。休み時間、体育の授業が行われる体育館の2階にいました。その時、地震が・・・、先生は周りにいません。あなたはどうしますか。

いろいろ考えてみると共通するポイントがあることに気付くと思います。自分の命を守るために、まずすべきことは何なのか・・・日頃から考えておくことが大切です。

約1ヶ月前の4月19日、8時16分（朝読書が始まる前の時間です）、震度3の地震が発生しました。担任や学年の先生が教室に駆けつけたときには、机の下に頭を入れ、身を守る行動がとれていたと報告を受けています。素晴らしいことだと思います。

また、中学生の皆さんは、災害時には、地域の中で活躍しなければならない存在でもあります。守ってもらうだけでなく、幼い子供達やご高齢の方を守る立場でもあると考えています。そういう自覚を持って欲しいです。以上で、講評を終わります。